

たかねまちづくり協議会事業評価シート

担 当 部 会 名	協議会							
1 事業の位置付け (P l a n)								
事業名	先進地視察				事業番号		個別番号	
まちづくり計画書の基本方針	☐ (1) 地域資源調査を行い、その結果を情報発信する。 ☐ (2) 地域の人々が相互の交流と理解を深めるための場や歌をつくる。 ☐ (3) 美化活動を推進し、美しい自然や景観を守る。 ☐ (4) 地域防災の仕組みを具体化させる。 ☐ (5) 支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。 ☐ (6) 農業振興を図り、若者の定住に繋がる取り組みを行う。						取組みの方向性や実施する事業	
計画年度※	H24		H25		H26		H27	
実施年度●		●		●		●		●

2 事業の実施 (D o)								
事業の内容	概要	まちづくりの先進地に出向き、研修を行う。 H24⇒地元で市民協働の講演会を開催 講師：春日俊雄 氏(柏崎市在住) H25⇒柏崎市高柳町荻ノ島集落(H24講師の集落) H26⇒長野県長野市松代町(NP0法人 夢空間 松代のまちと心を育てる会) H27⇒山形県鶴岡市大島地区(地域おこし協力隊と地域団体の連携) H28⇒新潟県ふるさとづくり大会in村上への参加(小規模多機能自治)						
	対象							
	事業期間							
	成果指標	なし						
	成果	先進事例に触れ、自分たちのまちづくりを考える参考になった。						
	課題	視察研修した内容が活かされているか、活かすことができるか。						
経費及び指標	項目	H24	H25	H26	H27	H28(見込)	合計	
	経費(千円)	0	73	118	55	0	246	
	会議回数	3	1	1	1	3	9	
	会議人数	20	5	6	5	1	37	
	参加者	21	18	12	6	15	72	
	全体アンケート							
	結果							

3 事業の視点別評価 (Check)	
達成度	成果の達成度 ☐達成度はかなり高い ☒達成度はやや高い ☐達成度は低い (上記選択の理由) 明確なテーマを持って計画されているか
	実施の必要性 ☒必要性が高い ☐必要性が今後高まっていく ☐必要性が低い、ない (上記選択の理由) 今後の地域課題に対応できる人材育成のためにリーダー的存在を育成することが必要と考える。
必要性	まち協が関与する妥当性 ☒関与すべき ☐集落で実施すべき ☐団体等で実施すべき (上記選択の理由) 各集落では実施が難しいと思われるため、協議会で実施すべきと考える。
	対象・手段の妥当性 ☐妥当 ☒改善の余地あり (上記選択の理由) 明確なテーマを持って、今後に活かすような研修計画が検討されているか疑問である。
効率性	事業費の削減余地 ☒削減の余地あり ☐削減の余地はない (上記選択の理由) やり方によっては経費を大幅に削減できる。
	人員の削減余地 ☐削減の余地あり ☒削減の余地はない (上記選択の理由)
	成果の向上余地 ☒余地あり ☐余地がある程度ある ☐余地はほとんどない (上記選択の理由) やり方によっては成果を大幅に期待できる。

4 事業の改革・改善の方向性 (Action)	
内部評価結果	今後の改革の方向性 ☐現状継続 ☒見直しのうえで継続 ⇒ 今後の方向性： ☒拡大 ☐他の事業と統合 ☐縮小 ☐休止 ☐廃止(発展的解消含む、実施取りやめを含む)
	(上記方向付けの理由) 地域外に出向いての先進事例研修もいいが、地域の内側(住んでいる人)が盛り上げられるような研修が必要と考える。
	(改革・改善の内容とそれを実施していくための手段・計画) 協議会役員の研修をしっかりと行い、地域・集落におけるリーダー的な存在を養成する。都岐沙羅パートナーズセンターと研修プランを検討する。